

【天竜川水系河川整備計画変更原案説明会】

川路水害予防組合（今村裕治 組合長）は、川路地区住民を対象に天竜川上流河川事務所による【天竜川水系河川整備計画変更原案説明会】を開催しました。

と き：令和6年6月24日（月）19時～

場 所：川路公民館 大会議室

ようす：

説明 国土交通省天竜川上流河川事務所：菊池五輪彦 副所長
飯田河川出張所 桜井 様 北原 様

聴講 川路水防組合 今村裕治組合長 他 川路住民 川路まちづくり委員会役員 計：30名



説明のポイント

- 今回の整備計画変更原案は、気候変動を考慮した結果の変更で平成21年の計画を15年ぶりに変更するもの。
- 河川整備基本方針：長期的（100年程度）な河川整備の最終目標であり、R5.12に改定済み
河川整備計画：河川整備基本方針に沿って定める中長期（20～30年程度）の具体的な整備の内容

S58洪水×1.1+α（気候変化）を予想

地点名 (降雨継続 時間)	現行河川整備計画 m ³ /s		
	目標流量	洪水調整施設 による洪水調 整流量	河川整 備流量
天竜峡 (2 day)	5,000	1,000	4,000



地点名 (降雨継続 時間)	変更河川整備計画 (案) m ³ /s		
	目標流量	洪水調整施設 による洪水調 整流量	河川整 備流量
天竜峡 (24 h)	5,700 (+700)	1,200 (+200)	4,500 (+500)

基本方針は5,900。+200分は、今回の変更整備計画より後の計画で目標化

洪水調整機能の強化については、新設ダム等に関する調査・検討を行う。
→戸草ダムを新設 河道掘削の追加

主な質問意見

Q1. 戸草ダムについては要望を上げている。まちづくり委員会、水害予防組合で効果のある陳情方法はありますか？

→戸草ダムについては、同盟会を含めて声を上げるタイミングが大事です。今はダメ、ダム調査の予算が付いたときに声を上げると効果が大きいです。同盟会（天竜川、戸草）会長は飯田市長です。

Q2. 阿知川の浚渫は限界との話を聞きます。天龍峡では河床が上がって昔は見えていた「芙蓉峯」や「垂竿磯」の文字が見えなくなっている。そらさんぼ下の鉄橋あたりには、ガラガラした石が河床にあると聞いているので、鉄橋をどかすことにより、河道を確保できませんか。

→阿知川の浚渫は、10年20年のスパンで見ると効果があると理解をしています。

鉄橋をどかしても上流の流量増加は見込めないと考えています。

Q3. 農業が流域治水に役立つので、農水省に対して、国交省からも言ってもらいたい。

農水省から田んぼ、水路への補助金を出す等の働きかけを期待します。（田んぼダムによる防災減災）

→田んぼの再生活用を考えたい。「流域治水」の言葉は2～3年前に生まれた。詳細は天上のHPをご覧ください。



Q4. 浚渫は昔から比べると減っている（10万m³→8万m³→5万m³）整備公社に国交省として浚渫を増やすように働きかけていますか。

→整備公社と砂利組合との関係もあります。無理は言えないが約束は守ってもらいます。一時的な事故で河川が崩れて増水等が発生した場合は、国が出て掘削作業を行い対応することを約束します。



【川路フォーラム】開催

川路まちづくり委員会（中島良彦 会長）は、令和6年度事業の柱Ⅰ：第2次川路基本構想実現の為に重点実施事項のひとつ、防災・減災事業として【川路フォーラム】を開催しました。

と き：令和6年6月30日（日）13時20分～

場 所：川路公民館 大会議室

ようす：参加者 63名

講演Ⅰ・・・『能登半島地震被災地支援派遣の報告』



田中先生 講演前のゲーム最高でした！

～避難所の運営支援を終えてわかったこと～

川路保育園 田中瑞唯（みずき）先生

市秘書課(前川路自治振興センター職員) 浅野直樹さん

◆活動場所：石川県輪島市 輪島高校（指定避難場所）

◆派遣人員：飯田市、松川町、阿南町から各2名

◆機 関：令和6年2月3日（土）～8日（木）うち24時間勤務を2回

◆貴重な体験談：

- ① 倒壊しているビルを見て改めて地震の恐怖を感じた。また、倒壊した家屋を見て、何名がこの下で亡くなられたのか想像をしたこと。
- ② 車で道路を走行中にカーブを曲がったら、突然大きな落石が道を塞いでいて驚いたこと。
- ③ 食事は我慢ができるが、トイレは我慢できない、トイレと水の確保は大事です。
- ④ 子どもの笑顔。自分の家が被災しているのに避難所で子ども達の面倒をみている校長先生の話。
- ⑤ 心のケアでは、被災者とのコミュニケーションが大事であること。
- ⑥ 派遣職員6名中4名が帰庁後にコロナを発症したこと。➡避難所の感染症蔓延、災害関連死



川路のみなさんは防災・減災への意識、感性が高い！



浅野さん 輪島市への派遣 お疲れ様！

講演Ⅱ・・・『みんなで100年先も暮らしたい川路にしよう！』



ワークショップでは指名されて発表も！

長野県 NPO センター事務局次長 兼 長野県災害時支援ネットワーク担当 古越武彦 氏

古越氏と2区今村光男区長が以前同じ職場であったことから今回のフォーラムが実現しました。



古越先生から『防災は人づくり』との提言です

古越氏は、県職員30年のうち後半15年間は防災業務に従事された、防災のプロ中のプロです。

◆内容：

- ・地震・・・伊那谷断層帯は飯田市で大きな被害が想定される。（震度6を予想）
- ・土砂災害・・・長野県では、イエローゾーン：27,109ヶ所 レッドゾーン：21,414ヶ所 ➡ 多い！
- ・災害時になぜ避難が遅れる・・・大きな災害を経験していない人が遅れる➡ほとんどの人が未経験！
 - ①正常性バイアス（まだ大丈夫だろう）②楽観主義バイアス ③同調性バイアス（周りが逃げてないから自分も大丈夫だろう）
- ・避難のあり方・・・自然災害は、決して他人事ではない。行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能。 災害に関心を持つこと。地域の皆さんで助け合いましょう
- ・5～6人／グループに分かれて意見交換をしました。（ワークショップと言うそうです）



ワークショップでは自由な意見を出せました？

問1. 避難所生活7日目で生活環境は最悪。誰かが改善をしなければなりません。

①誰がやればよいと思いますか？

②あなたは、何をしますか？（何ができますか？）

問2. みんなで命と生活を守り、「100年先も暮らしたい川路」にするために？

①川路の弱みは、何ですか？

②川路の強みは、何ですか？

みなさんも一緒に考えてください！

